



農業試験場暖地園芸センター ニュース

第53号(2022.1)



ハイブリッドリモニューム ‘シンジーシルバー’

常日頃から暖地園芸センターの試験研究の推進にご理解、ご協力いただき、心より御礼申し上げます。

さて、最近の農業分野の試験研究ではロボットやAI（人工知能）、ICT（情報通信技術）などの先端技術を活用し超省力・高品質・高生産を実現する「スマート農業」に関する取組が国や大学等で盛んに行われています。本県の園芸産地においても、施設栽培へ環境制御装置やモニタリング装置を先行して導入した生産者が収益性の高い農業を実践しているとともに、スマート農業実践塾に多くの方が参加していただいております。

このような中、当センターにおいても産地が抱える課題解決に加え、将来の農業現場を見据え、ミニトマトやトルコギキョウ等の複合環境制御技術開発の試験に取り組んでおります。

今後とも産地の維持・発展に繋がるよう、栽培技術の開発、新品種の育成および新品目の探索に関係機関のご協力をいただきながら取り組む所存ですので、なお一層のご協力、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

(所長 鈴木 正人)

目 次

研究の成果

- 同一株で複数年栽培できる植替え不要な省力品種ハイブリッドリモニューム ‘シンジーシルバー’ の栽培特性と電照による開花促進 (花田 裕美) . . . 2～3
- 実エンドウ新品種 ‘光丸うすい’ の着莢位置と莢品質
～日当たりを良くすると莢の品質が優れる～ (宮前 治加) . . . 4